

8・4 メモ（8・2の分）

題名

先入観にとらわれない

要約

花の絵を書き始める時、心は画用紙のように真っ白でありたいと思っている。同じ名前の華でも、人間の顔のように少しずつ違っているからだ。また、朝と夜でほんの少し色が変わっている。人間の社会でも少しずつ違い、いろいろな人がいる。しかし、知らないうちに、どういう人かを決めつけてしまうことがある。だが、心を持っている人を見る時、自分の僅かな秤で決めつけてしまうことは、間違っていると思う。

2段落

- ・ 本の話
- ・ 始めは嫌だったけど母に言われて渋々読んだらとても面白くて、今も読んでいる

3段落

- ・ 弟の給食の背骨
- ・ 嫌だったけど友達が食べていたのを見て食べてみたら噛み応えがあって美味しい
- ・ 背骨がいま一番好きらしい

4段落

- ・ 先入観にとらわれずチャレンジすることで、新しいことが見えてくるかもしれない

